

保険調剤基礎コース（ネオフィスト研究所）報告書

2016/4/11~2016/4/14

沼田 朋和

《1日目》

【研修内容】

- ・ 薬剤師・薬局を取り巻く環境変化
- ・ 保険薬局で仕事をしていく上での心構え

【考察】

初日の研修では薬剤師・薬局の取り巻く環境変化と薬剤師としての心構えについて学びました。その中でも特に印象に残ったことは、平成 27 年経済財政諮問会議において厚生労働大臣から表明された「患者の為の薬局ビジョン」についてでした。そのビジョンは

- ① 立地から機能へ
- ② 対物業務から対人業務へ
- ③ バラバラから一つへ

という 3 つの考え方から成り立っており、今年の 4 月に改定された調剤報酬において「かかりつけ薬剤師」が新たに設置されたことなど、薬剤師の業務がより専門性が高く、より患者のニーズに沿ったものへと変革することが求められているということを感じました。

《2日目》

【研修内容】

- ・ 薬剤師関連法規
- ・ 医療保険制度と調剤報酬

【考察】

2 日目の研修では薬剤師を取り巻く法規や医療保険制度について学びました。薬剤師・薬局を取り巻く法律は、薬局開局から医薬品の仕入れ、販売方法、記録の保存に至るまで膨大にあることを実感しました。またそのすべてを把握しておかないと薬局を運営できないことを知りました。薬局は管理薬剤師だけで管理すればいいという考えではなく、薬剤師全員で管理していくことが業務を円滑に進めていく上で重要であると感じました。

《3日目》

【研修内容】

- ・ 医療保険制度と調剤報酬

【考察】

3日目の研修では医療保険制度の中でも後期高齢者医療制度、公費負担医療、公害医療について、調剤報酬については細かい点数や算定要件について学びました。医療保険には様々な種類があり、制度を細かく理解することは簡単ではありません。しかし、なかには制度を利用することで医療費の負担を抑えることが出来ることを知らない患者様もいらっしゃいます。薬剤師は薬の知識だけ持っていれば言いわけではなく、患者様にわかりやすく医療保険制度を伝えることも重要な仕事であると感じました。

《4日目》

【研修内容】

- ・ 薬歴の書き方
- ・ 疑義照会と服薬指導のロールプレイ

【考察】

4日目の研修では薬歴の書き方を学び、疑義照会、服薬指導の実践的なロールプレイを行いました。薬歴は薬学的管理指導の証拠、調剤報酬請求の根拠、スタッフ間の情報交換のツールなど様々な役割が存在します。そのため薬歴を書く薬剤師が、どの情報により、どう考えて、どうしたのかというプロセスが誰が見ても分かるように簡潔かつ明解に記載されていなければなりません。研修ではそのための文章の書き方についても学びました。実践においても「誰が見ても明解な薬歴」を念頭に薬歴を書いていきたいと思えます。

また、ロールプレイを通じて感じたことは、疑義照会や服薬指導時の言葉遣いの重要性でした。相手に自分の言いたいことを分かりやすく伝えることや相手の気持ちを引き出すためには言葉一つ一つに気を遣わなければなりません。そのために言葉遣いについても勉強していく必要があると感じました。

《総括》

今回の研修を通して、薬剤師としての心構えから実践的なことに至るまで、薬剤師としての基本事項を学ぶことができました。「薬剤師は一生勉強」という

言葉を良く耳にしますが、今後薬剤師として見識をもてるかどうかは自分自身の努力次第であると思います。現状に甘んじることなく、常に患者様の目線にたって物事を考えることを忘れずに研鑽していきたいと思います。

最後になりますが、このような研修の機会を与えてくださった方々、また吉岡先生に心から感謝申し上げます。本当に有り難うございました。